

平成9年2月



## 「学校を開くには、まず何から」

関西大学 総合情報学部長 水越敏行

1 「教師は自分が教えられた授業をモデルにして教える」というのは、古今東西を問わず、また学年や校種を問わず、いつでもどこでも言えることではないかと思う。私が今勤務している大学で、卒業論文の在り方を教授たちが検討したときも、工学部、社会学部、法学部、教育学部など、出身母体によって、それぞれが今まで築いてきたスタイルから様々な意見が出た。卒論だけでなく、今までのスタイルを打ち破る新しいタイプの講義や実習を創り出す努力を教員各自がしていかなければならない。

このことは、小学校の生活科、中学校の生徒選択の学習、マルチメディアやインターネットを活用した双方向の学習などにおいても同様ではないだろうか。いずれも今の教員は、児童や生徒の頃に体験したことはない。だから、そのような新しい授業のスタイルや授業設計が、子どもの視点に立ったものとなっていないようである。したがって、新しい授業についての具体的なイメージをもつためには、研究会への参加あるいは実践事例からの研究等、自分自身で生み出していく努力をする必要がある。

2 学校はもともとが「閉じたシステム」である。教授組織、カリキュラム、学習形態、学校建築などの要素をとってみても、オープンなものになっていない。では、まず何から手がけたら、学校を開くことができるのか？

(1) ティームティーチングへの取り組みが本格化してきた。しかし、加配措置があるなしにかかわらず、また、算数や数学の習熟度別指導に限定することなく、もっと日常的に実行して行ってほしい。例えば生活科は、同学年の教師の協業だけでなく、音楽、図工、ダンスなどの得意な教員に参加を要請する。環境教育や情報教育、国際理解教育などでは、複数教科の教員がチームを組む方が効果をより上げることができる。さらに外部の専門家を直接に、あるいはテレビ電話やインターネットで、協力や助成をしてもらうことも有効である。

(2) 学校以外の公共施設、公民館や体育館、図書館や資料館、ホールや劇場などに出向いて行って、専門家の指導を受ける（湯布院中学校のジュニアハイゼミナール）。逆に日曜日などに学校の授業を保護者に公開したり、授業に参加したりしてもらう（京都市）。

(3) 複式学級を意図的につくり、1年生と3年生というような異年齢集団で、相互に教え・学ぶ場をつくる。これにパソコンやファックスを活用して、外部との双方向の学習につなげる（宮崎県や新潟県の小規模校）。

これらのためにもまず、教員が心を開き、生涯学習に踏み出すべきであろう。

## 研究紹介

### 中学校美術科における主体的な造形活動を促す学習指導法に関する研究

#### —ネットワーク題材を取り入れて—

広島市教育センター指導主事 福原正明

#### 研究のねらい

生徒が主体的に表現を追求する態度を育てることは、自主性、主体性、ひいては自己教育力の育成を促す重要な教育活動であると言えます。しかし、実際の授業において生徒は、題材や材料・用具、技法などの制約が多いために、十分な選択や工夫をすることができず、思いや個性が十分に発揮できなかったり、苦手意識が解消されなかったりして意欲がわかず、受け身の学習になっていることが多いと思われます。

そこで、生徒の表現意欲を喚起し、主体的な造形活動を促す学習指導法について、ネットワーク題材を取り入れた授業実践を通して探ることにしました。

#### 主体的な造形活動をしている生徒の姿

次のようにとらえました。

- ①興味・関心が高い
- ②楽しんで制作している
- ③意欲的に制作している
- ④創意工夫を凝らして制作している
- ⑤制作や作品に対して満足している

#### 広範囲で総合的なネットワーク題材

ネットワーク題材については、「絵画・彫刻・デザイン・工芸の4分野の枠にとらわれず、いろいろな表現分野にかかわり、生徒の生活に根ざした広範囲で総合的な題材」ととらえました。

#### ネットワーク題材開発上の配慮事項と年間指導計画作成上の配慮事項

主体的な造形活動を促すために、ネットワーク題材を各学年1題材ずつ開発しました。開発に当たっては、主に次の①～⑥について配慮しました。

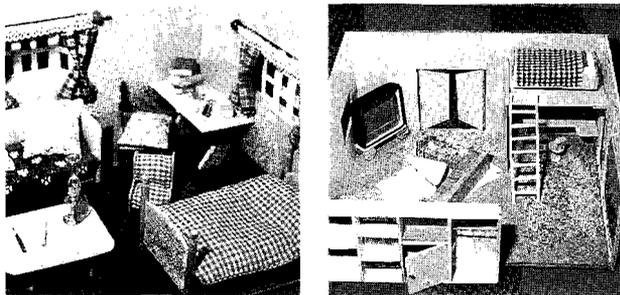
- ①広範囲に他の分野にかかわる
- ②新鮮な学習意欲を喚起する
- ③生活に役立つ
- ④多様で個性的な発想や表現を促す
- ⑤達成感・満足感を味わえる
- ⑥各工程に評価の場面を多く取り入れる

次に、各学年の年間指導計画を作成しました。作成に当たっては、『中学校指導書美術編』第3章指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、生徒の発達段階、単独分野の題材とのバランスについて配慮し

ました。そして、開発したネットワーク題材を、分野間の題材のバランスや題材の系統性・発展性を考慮して年間指導計画に位置付けました。

#### 開発したネットワーク題材

第3学年の「平面から立体へ進化する My Room」の実践を紹介します。この題材は、デザイン分野と工芸分野をネットワークさせたもので、様々な素材や技法を駆使して自分の部屋のレンダリングを立体の My Room に変身させるという内容の題材です。第2学年の3学期に制作した「透視図法による部屋のデザイン」を発展させて、第3学年の1学期に計画しました。



「平面から立体へ進化する My Room」の作品例

#### 研究を終えて

各学年で実証授業を行い、主体的な造形活動をしている生徒の姿について、教師の授業観察、生徒の自己評価票・感想文・作品から分析・考察しました。その結果、ネットワーク題材を取り入れた学習指導を行えば、生徒の表現意欲を喚起し、主体的な造形活動を促すことができることがわかりました。

すでに実践されている学校もありますが、各校でもぜひネットワーク題材を年間に1～2題材は取り入れて、生徒がより主体的に取り組める授業を実践してみられてはどうでしょうか。

(平成8年広島市教育センター研究紀要 第16号より)

## 研究紹介

### 中学校理科における表現力を育てる学習指導法に関する研究

広島市教育センター指導主事 松浦俊雄

今日、理科教育においては、観察、実験などを通して理科における基礎的・基本的事項の定着を図るとともに、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などを育成することが必要です。中でも、表現力の育成については従来の理科の学習指導においてはあまり重視されておらず、学習指導の工夫が課題となります。

本研究では、この表現力を中学校理科においてどのように育成すべきかを探りました。

#### 理科における表現力の育成とは

理科における表現力は「観察、実験から得られた事実や測定したデータ及び結論を再現性の高い公正妥当な方法で伝達する能力」です。

この表現力を育成することの意義には、①自他のコミュニケーションが活発化する、②公正妥当な知識を分別できる、③個性が生かせる、④科学的思考が深化する、⑤知識・理解が一層定着するなどと考えられます。

また、理科における表現力を育成することは「情報活用能力」の育成にも通じるものであり、さらには「科学的リテラシー」の育成にも通じるものです。

#### 表現力の育成の考え方

理科における表現力の育成は、次に示す三つの観点から具体化することが必要です。

##### 【表現の意欲】

学習指導において、学習意欲はすべての学習活動を支える基盤となるものであり、理科における表現も生徒の内発的な意欲に裏打ちされたものであることが必要です。すなわち、表現しようとする意欲をどのように高めるかが大切な観点となります。

##### 【表現の方法】

表現したくてもどうしてよいか分からないということがあります。生徒が実際に何かを表現しようとするときの表現の方法をどのように習得させるかという観点が必要です。

##### 【表現の構成】

本研究が育てたいとする表現力は、現実の様々な機会において活用することのできる“生きた表現力”です。このような“生きた表現力”を育成するためには、表現の意欲や表現の方法の指導だけでは不十分であり、習得した表現の方法をどのように組み合わせるかと表現の構成の観点が必要で

す。これらの三つの観点から理科における表現力は実践力として総合的に育成されます(図1)。

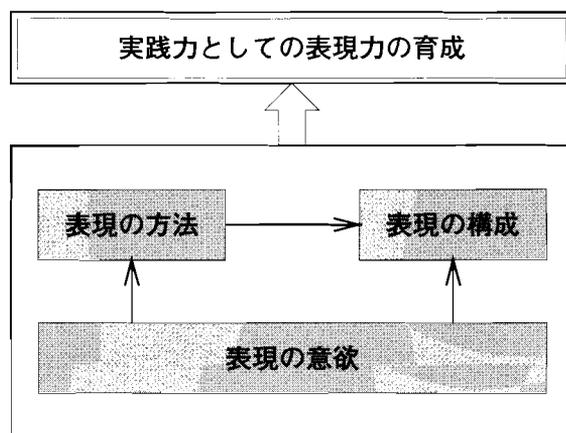


図1 表現力にかかわる三つの観点

#### 指導計画の作成と学習指導の工夫

理科における表現力を育てる有効な学習指導を具体化するためには、表現力にかかわる達成目標を設定し、この達成目標にしたがって各学年における年間指導計画を作成して、中学校3年間を見通した学習を行うことが必要となってきます。

本研究においても、達成目標及び年間指導計画の試案を作成し(紙幅の関係で省略)、その一部を実践して学習指導法の有効性を確認しました。今後も、そのような実践事例の積み重ねが求められます。

(平成8年広島市教育センター研究紀要 第16号より)

## 取り入れてみましょう

- 学校グループワーク・トレーニング  
特別活動 (小)

体験的にゲームを通して学べるプログラムとして、グループワーク・トレーニング (GWT) があります。

これは、グループ活動を通して人とのかかわり方を具体的に学べるもので、例えば目的によって、力を合わせるGWT、聴き方を学ぶGWT、自分を知るGWTなどがあります。

どのGWTも1単位時間の流れは、次のようになります。

- ①準備 (グループ分け、課題の説明、5分)
- ②実施 (グループごとの課題解決 20分)
- ③結果発表 (解決結果の発表 5分)
- ④ふりかえり (解決過程の見直し反省 10分)
- ⑤まとめ (日常に一般化する 5分)

人へのかかわり方における児童自らの態度や行動を変容させる有効な指導法の一つとして、学級活動に取り入れてみてはいかがでしょうか。

## 大切にしましょう

- 生徒との望ましい人間関係づくり  
英語科教育 (中)

英語の指導において、指導効果を高めるためには、生徒との望ましい人間関係づくりが大切です。

- ① あいさつは元気よく、明るい雰囲気です業へのモチベーションをつくること。
- ② 文型練習は、仲間意識を感じさせるようにすること。
- ③ 文法事項は、説明を簡潔にし、興味ある例文を多く聞かせ、決まりを感じさせるようにすること。
- ④ 内容理解の場では、生徒が自分の意見を自由に言えるような機会を多くつくること。

以上のような望ましい人間関係づくりの視点を取り入れた実践を行うことにより、指導効果の高まりが一層期待できると思われま

## 育てていきましょう

- 子ども自らが問題解決していく力  
幼稚園教育

日々の保育実践の中で、子ども自らが問題解決する力を育てることが求められています。

例えば、子どものけんかは、心身の成長に必要な体験であると考えられていますが、その指導において、教師は次のようにかかわってみてはどうでしょうか。

- ① けんかの内容によっては、そばで見守る。
- ② 言い分を受け止める温かい態度を示す。
- ③ 善悪を結論づけしないで、当事者に問題点を考えさせるとともに、周囲の子どもにも問いかける。
- ④ けんかの状況を当事者に再現させ、皆で一緒に考える場をつくる。
- ⑤ 子ども自ら解決できた時はほめ、またそのことを他の子どもに伝える。

以上のようなことに留意しながら、子どもの問題解決していく力を育てていきましょう。

## 充実させていきましょう

- 高等学校における環境教育  
家庭科教育 (高)

現在の地球環境問題の原因の一つとして、「快適さ」や「便利さ」を求める私たちのライフスタイルが深くかかわっていると言われています。それは、家庭から出るゴミの問題や生活排水による河川や海洋汚染などです。

このような環境問題に的確に対処する生徒を育てるためには、環境に対する問題意識をもたせ、さらにそれを高めていく環境教育の指導が必要となります。

高等学校家庭科において環境教育を進めていく際には、衣食住に関係した商品をどの様に使いこなすかという生活技術の在り方と、個人の価値観・ライフスタイルを見直す消費者教育の立場から実践してみてはいかがでしょうか。

# 教育実践のアイデア

## 実践発表紹介

### —授業改善講座—

「目標の構造分析を取り入れた授業改善の実態」

袋町小学校教諭 伊賀崎 弘 樹

第4学年の理科「電気のはたらき」について教育工学的手法（目標の構造分析）を取り入れた授業を設計し、評価を行いました。

目標の構造は、論理分析を行って形成関係図に表すことによって明らかになります。この図から「検流計を読むこと」「直列つなぎ、並列つなぎの理解」が、単元の核心であることがはっきりしました。さらにこの図から、評価のポイントとなる内容を選び出し、評価用ソフトウェアを作成して、パソコンによる評価を実施しました。それで、理解の不足する部分について再学習を早く行わせることができました。

目標の構造分析を取り入れた授業設計をすることで、児童がより主体的に学習し、単元の目標の達成度を高めることができました。

### —養護教職員研修講座—

「保健室における教育相談の実際」

東原中学校養護教諭 高橋 則子

保健室に相談のため訪れた生徒の、私自身の対応の傾向を分析してみました（6/10日～6/15日）「受容」が60.6%、「助言・説明・情報を伝える」が25.4%、「支持・指導」が6.4%、「質問・確認」が3.6%、「処置」が3.0%、「非言語的対応」が1.0%でした。生徒が訪れると、受け入れて話を聴いたり質問をしたりして、助言や説明をしている自分の姿をあらためて感じることができました。相談活動の事例として「いじめを受けてクラスに入れなくなったA子」を校長、学級担任、学年、保護者、教育センターと連携を図り支援を行った結果、教室へ入ることができるようになりました。関係機関（教育センター、広島心の健康研究会、症例研究会）の助言が指針になった事例でした。

### —高等学校地理歴史科指導講座—

「生活・文化の地域的特色についての理解を深める地理の指導」

基町高等学校教諭 川上 靖夫

「分かる授業」「飽きさせない授業」「進路に対応できる授業」を目指し、試行錯誤のうえ作成した学習プリントを用いた授業実践例を紹介しました。教科書や地図帳を活用して答える問題、新聞記事や統計表の読み取りから答える問題、地形図や雨温図の読み取りから答える問題など、各種の資料や様々な問いを満載した学習プリントです。

その作成に当たっては、様々な国・地域の生活や文化に対する関心が喚起でき、異文化理解を深めることのできる資料の収集・精選に苦勞しました。そして、生徒が人間の営みや願いを具体的・実感的に理解できる学習プリントにしていきたいと思いつ工夫・改善しました。

### —社会教育講座（2組）—

「生涯学習とボランティア」

古田公民館長 湊 朗

今回の講座では、公民館の主催事業をきっかけの一つのボランティアグループができ、そのグループを核として目的の違う複数のグループが派生していく過程に触れ、その現状、成果、課題等を紹介しました。

古田公民館で活動するボランティアグループの人たちの共通認識は、「無理をせず、自分たちのやりたいことを見つけ、息長く続けていこう」です。実に楽しそうに活動している姿には、うらやましさすら感じられました。

今後、余暇時間の増加、生涯学習社会の浸透などにより、ボランティア活動を希望する人は確実に増えていくでしょう。地域住民の多様なニーズにどう応え、その活動をどの様に生かしていくのか、これからの公民館の課題です。

## = 教育相談室から =

Q

おこたえします

A

## 『保健室登校』する子どもの理解と援助

## 《保健室に登校する子》

Q 小学校4年の男子児童です。9月下旬の運動会を契機に登校しなくなっていました。10月下旬になって登校するようになりましたが、教室には入らず、ずっと保健室で過ごしています。

保健室ではとても元気な様子です。元気な姿を見ているとなぜ教室に入れないのか不思議です。なんとか教室に入るように促すとカーテンの後ろに隠れてしまいます。このまま「保健室登校」が続いてしまうのではないかと思うのですが。

## ○ 「保健室登校」を肯定的に評価する

保健室に登校する子どもをどのような気持ちで見ているのでしょうか。「保健室に来れるのになぜ教室に入れないのか」「保健室で本人の好き勝手にやっていて本当に教室での集団生活に適応できるのか」など、どちらかと言えばマイナスイメージで見えていませんか。こうしたイメージが時として本人にかかわっている教職員の取り組みに対する不信感へとつながることがあります。

子どもは、保健室に登校することで、新たに次のような状況へと進展します。

- ① 家の中にずっといるより、葛藤する機会が増加し、生活にメリハリが生じてくる。
- ② 保健室での教職員との人間関係から、心の交流ができ、気持ちの安定が期待できる。
- ③ 他の子どもと自然な形で交流が可能となり、集団生活への適応の回復を早める。
- ④ 保健室で過ごす生活は、家庭で過ごす生活よりおのずから規制が加わり生活リズムを取り戻すことができる。

このように、「保健室登校」は、不登校になった初期の段階よりも、気持ちが安定してきており、他の子どもとかかわる機会が広がってきます。

## ○ 保健室で自分の気持ちを素直に表現している

不登校の子どもにとっては、教室での生活に極度の緊張感を抱くものです。保健室ではこうした気持ちを和らげる“心の居場所”となっています。

したがって、自分の内面を話したり、時には甘えたり、わがままが出せたりできる場所です。こうした行動を通して、自分を見つめ直していきます。

## ○ 本人の生活が安定してくると活動の場を広げる

保健室の生活が、手伝い、給食を食べる、掃除をするなど安定してくると、いきなり教室に入ることを促すのではなく、保健室以外の場所、たとえば、職員室や教室以外の場所などに誘ってみましょう。その際に、本人が安心できる教師が寄り添うことが必要です。この取り組みから、本人に「やれることからやってみよう」「やったらできた」という気持ちを抱かせる効果をもたらします。

また、保健室での子ども同士の間関係づくり、たとえば、掃除の時間に保健室で他の子どもと一緒に掃除をする機会を設けるなどもよいでしょう。

このように、場の広がり、人との広がりを通して、自分の教室へ入ることへの準備を徐々にしていくこととなります。

## ○ 教職員間の連携・協力を推進する

本人にかかわっている教職員との間においては、考え方や取り組む方法など細部にわたって共通認識をしておく必要があります。とりわけ校長・教頭の取り組みへの理解と援助は、教職員の取り組む姿勢に、大きな影響を与えます。また、場合によっては専門機関との連携も考えてみてください。

子どもの気持ちを受けとめ、“待つ姿勢”で取り組むことが保健室から教室への早道となります。

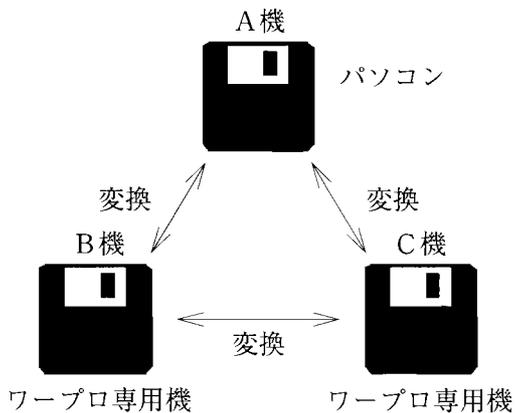
# 教育用ソフトウェアライブラリの紹介 (3)

教育用ソフトウェアライブラリでこんなこともできます。

教育用ソフトウェアライブラリには、約2,000本のソフトウェアがあります。その中には、学習用ソフトウェアだけでなく基本的ソフトウェアや学習計画用ソフトウェアもあります。

これらのソフトウェアを利用して、次のような作業をすることもできます。

## 1 他機種間の文書の変換



## 2 時間割の作成

## 3 アンケートの処理

## 4 機械翻訳 (英語→日本語)

利用の際はぜひ  
電話で予約して  
ください  
Tel 223-3563

# 視聴覚資料をご活用ください

今年度、新たに整備しました視聴覚資料についてご紹介します。

教科・領域	ソフト名	備考
社会科	『高野町』	VHS 7分
	『くらしと産業をささえる貨物輸送』	VHS 18分
	『人がやさしいまち ひろしま』	VHS 18分
理科	『植物の名前しらべ —図鑑やコンピュータを使って—』	VHS 20分
生活科	『生活科 —地域の協力のある授業例と年間計画—』	VHS 33分
保健体育科	『手から手へ』	VHS 20分
生徒指導・ 教育相談	『学校カウンセリング講座 —面接の進め方・面接の実際—』	カセットテープ
	『治療的面接の実際 ゆうこのケース』	カセットテープ
	『いじめゼロをめざして』	VHS 30分
	『勇気ある選択』	VHS 27分
障害児教育	『遙かなる甲子園』	VHS 103分
	『新ちゃんが泣いた!』	VHS 35分
	『障害をもつ子どもの発達臨床』	VHS 30分
	『障害のある子どもの個別指導』	VHS 60分
	『勇気あるホテルととべないホテル』	VHS 17分
道徳	『Vサイン』	VHS 45分
特別活動	『ドクターXの自転車安全セミナー』	VHS 20分
	『かがやく明日へ PART II —燃やせ青春! めざせスペシャリスト—』	VHS 28分

### 貸出について

- 本数 3本まで  
(個人・団体とも)
- 期間 1週間以内
- 配架場所 4F  
ソフトウェアライブラリ
- 受付 4F 総合調整室

### 視聴できます!

総合調整室やソフトウェア  
ライブラリで、視聴できます。  
お気軽にどうぞ!

## 教育センターひろば

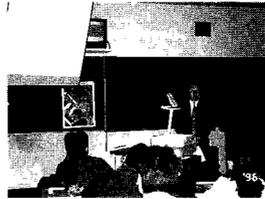
### 教育センターこの1年

#### 衛星通信を利用した研修講座の実施

講 師	
大阪市立大学教授	森田 洋 司
群馬県立川前立古館中学校長	横 塚 徹 二
傍聴	牟 田 保 三
NHK解説委員 文化女子大学教授	野 原 明
国際学院埼玉短期大学教授	金 子 保
シナリオライター	小山内 美恵子

いじめ問題について140名の教職員が終日熱心に研修されました。多数の著名な講師陣によるリアルタイムの研修でした。

#### 21世紀の教育を創造する教育研究発表大会



指導主事による時代のニーズを先取りした研究の成果（平和教育，教育相談，理科教育，英語科教育，美術科教育）を発表しました。

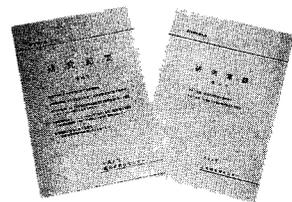
#### 館内作品展示

作品展示協会のお世話により，広島市立学校の教職員の方々の作品を展示させていただきました。（絵画20点，彫刻7点，書9点）

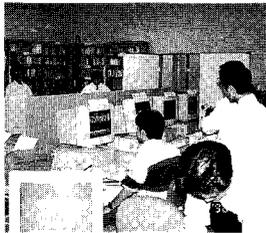


#### 明日の教育実践に役立つ研究成果物

本市の教育課題に即応した実践的研究をまとめた『研究紀要第16号』『研究集録第15号』を刊行し，各学校・幼稚園へ配布しました。



#### 教育用ソフトウェアライブラリの開室



昨年の5月に開室し1月末までに約750名の教育関係者の皆さんが利用されました。今年度も新たに約100本の教育用ソフトウェアを追加しました。

#### 「いじめ110番」「教育相談室」土曜日実施



今年度から，土曜日にも相談を実施しており，多くの幼児児童生徒，保護者及び教職員の相談に応じてきました。

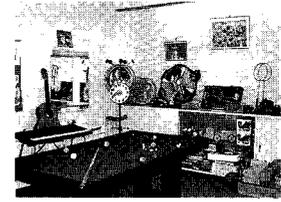
#### 教育情報のデータベース化

教育センターが所蔵している教育関係資料及び視聴覚資料を教育情報としてコンピュータに登録し検索できるようにしました。



#### 教育相談における遊具の充実

教育相談室では，プレイセラピーにおける遊具の充実を図っており，昨年12月末までに延べ330人の子どもたちが利用しました。



#### 編 集 後 記

年度末を迎え，何かとご多用のことと存じます。今年度最後の所報をお届けします。今後の指導の充実にご活用ください。

題 字 仁保中学校校長 益永 瑞夫  
表紙絵 城山中学校教頭 堀田 誠治